

# ワーカーズ winds

## 第 39 号

Vol.39

◆発行責任者  
労働協同組合グリーンコープ  
福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会理事會  
◆編集  
福岡市博多区博多駅前1丁目5の1  
博多大博通ビルディング10F  
TEL:092-482-4166 FAX:092-472-9455

2015年4月現在 所属人数 2,260人

# 第三期 通常総会報告



1 ワーカーズの自立と推進、社会的認知をすすめて

### 2015年度の基本方針

2014年度は、これまで築いてきたワーカーズのバトンを未来に向けて渡していくための課題を検討し積極的に取り組んでいく事を確認して、歩みを進めた年でした。2015年度は介護保険改定があり福祉を取り巻く社会状況はますます厳しくなりますが、在宅福祉ワーカーズが福岡に誕生して20年という節目を迎え、地域福祉の担い手として、私たちの出会う方々と20年間の歩みを大切に、共に手と手をつなぎ合い、私たちの思いと、やわらかな手を届けていく事を参加者皆で確認しました。



第三期通常総会を、6月6日(土)九州ビル(福岡市)にて代議員37名(内委任状7名)オブザーバー96名、来賓10名の参加により開催しました。総会後は、社会福祉法人グリーンコープ理事長長岡良治さんを講師に基調講演をおこないました。続く、昼食交流会では、昨年「友好団体として」一步進んだ関係を結んだ宮城県山元町のデイサービス「のぞみ」さんを迎え報告いただきました。また、各県からの熱いアピールを共有し、2015年度の力強いスタートとすることができました。



- 2) 地域に向けた様々な取り組みを通して、ワーカーズ運動の広がりを目指します。
- 3) 研修を通してスキルアップを図るとともに、連合会の研修事業の確立を目指します。
- 4) 社会福祉法人グリーンコープ、グリーンコープ共同、グリーンコープ連合はもとより、他団体と連携し、地域福祉を進めます。
- 5) 東日本大震災の支援を「忘れない、つなげよう、寄り添う気持ち」をもつてさらに取り組みを進めます。

総会議案は全議案賛成多数で承認されました。引き続き、社会福祉法人グリーンコープ理事長の基調講演では、グリーンコープが取り組んできた高齢者介護をさらに進めるためには、業務を担っているワーカーズ労働協同組合の主体性の飛躍と高度化の確立が必須と提言をいただきました。その後の昼食交流会では、デイサービス「のぞみ」さんから、昨年7月、巨理町に2か所目のデイサービスを開設された経過やケアの様子、また、利用者が作詞された「えん歌」を披露され、スタッフと利用者のやわらかい関係が伝わってくる報告をいただきました。



**\*東北支援の取り組み\***  
大船渡仮設住宅のみなさんとうみねこ「ゆめハウス」の手作り品を販売しました。今年は342点の作品が届き、総額166,600円の支援となりました。

**\*がさじぞう基金カンパ報告\***  
がさじぞう基金カンパを呼びかけました。総会参加者より27,835円が集まり、生活再生相談室へお届けしました。

**夢だより**  
長く利用して頂いていた利用者さんのお別れが続き、寂しい思いがしていた人が亡くなることはエネルギーが奪われていくような気がする。一杯生きておられた様子を思い出して、お疲れさまでしたとお声をかけさせて頂いた。先日、福岡市博物館で藤城清治の作品展があったと聞き福岡へ行ってきた。有名な方なので予想どおり多くの来場者の中、作品をたつぷりと味わえた。藤城清治という子どもに、頃暮しの手帳という本に影絵とお話が載っていることに読んでいたことが記憶に残っている。絵本サイズの物がばかりをイメージしていたが、天井まで届きそうな大迫力の作品も多くあり、圧倒された。サインの列に並び、サインと握手して頂き、暖かい手から、ワーカーズをもらった気がした。昨年90歳の卒寿を迎えられ、お元気で活躍されている源は何気なく考えた。社会問題をテーマとして常に前向きに目標を持っておられることかと自分なりに納得。この日博物館で食べたランチも美味しく身も心も満たされ大満足。目標を持って頑張ろうと元気が出てきた。

おそろ(おいた)  
福祉ワーカーズ連合会理事

# 明日へ羽ばたけワーカーズ



## 「ホカホカになる お目こまみたりなお手伝い、 ひなたぼっこ」の想いです



山口初任者研修

やまぐちでは、今年1月から周南地域で、介護職員初任者研修を開講しました。講師は全員自前(ワーカーズ)で、7名のピカピカのヘルパーが誕生しました。人って、いくつになっても「学ぶ」「成長する」喜びにとくめくんですよ。そういう機会を共に創り、感じ合えたことに、心から感謝いたします。

そして、その周南地域で、生活応援事業のみでがんばってきた「ひなたぼっこ」が、いよいよ今年9月から満を持して、介護保険の訪問介護事業に参入します。タイトルは、訪問介護事業に向かうひなたぼっここのワーカーズの意気込み、事業所の理念です。



笑顔あふれて、夢いっぱい!

やまぐちは、6月から「労働協同組合福祉ワーカーズやまぐち☆きらら」として生まれかわりました。あゆむ・わかば・ひなたぼっこ。120名のワーカーがしっかりとスクラムを組んで、やまぐちの地に根ざしていきます。福祉業界の厳しい嵐に負けずに、どんな花を咲かせようか、みんなでワクワクしています。

労働協同組合福祉ワーカーズ  
やまぐち☆きらら(やまぐち)

## 私のお薦め商品

グリーンコープの福祉ワーカーズはグリーンコープの組合員でもあります。日々の調理や生活で、ワーカーが実際に使っているグリーンコープの商品から「お薦め」を紹介します。



調理例

ワーカーズになる前、長年組合員活動をしてきた私としては、食べものはもちろん、化粧品、せっけん、グリーンコープ商品全部がオススメです。ワーカーズになる前、長年組合員活動をしてきた私としては、食べものはもちろん、化粧品、せっけん、グリーンコープ商品全部がオススメです。皆さんご存知でしたか? ロングセラーになっている「うまくて辛いつけ麺」はGCひろしまの組合員が開発した人気商品なのです。夏はもちろん大活躍! なんととっても麺がツルツル! 美味しいうつけ麺最高! です。辛味は別添になっていてお子様にも大丈夫。我が家では、休日のお昼によく登場させ、家族も大好きです。ぜひ、試してみてくださいね。

### 「うまくて辛いつけ麺」

## 2014年度 ワーカーズ共済報告

「グリーンコープワーカーズ・コレクティブ共済」は、ワーカーが安心して仕事が続けられるように、ワーカー同士の助け合いの仕組みとして2011年5月から事業を開始し、今年度で4年目を迎えました。2014年度のワーカーズ共済事業について、以下のように報告します。

《2014年度の決算報告と状況》

収入	代理店手数料	1,230,840
	推進経費	259,740
	通信費	14,959
	会議費	48,580
	消耗品費	21,517
	総会費	0
	支払い事務手数料	496,499
	家賃	101,400
	合計	942,695
事業外収支		79
当期剰余金		288,224

《2014年度加入合計数》(人)

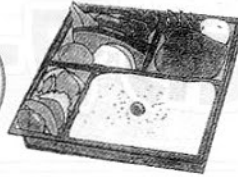
加入数	福祉	504
	店舗	40
	共同購入	67
	その他	21
	計	632

《2014年度給付件数合計》

給付数	25件
給付額	2,683,000



# 配食部会報告



配食サービスパセリには、30歳代から60歳代の女性が配達を担当しています。高齢者の方々の色々なエピソードに、事務所が盛り上がる事もたびたびです。

お話好きな方につかまって、なかなか先に進めず困ってしまったり、40歳代後半の配達者（既婚者）に結婚相手を紹介してくれようとしたり・・・、入院されたら聞き心配したり・・・、毎日がとても新鮮です。

「待っていました。」「おかげで血液検査でお医者さんにほめられたよ。」「美味しかよー。」「安全運転で行かんばんよ。」という声に励まされて「笑顔と清潔」をモットーに、今日もパセリ号で八代の町を走ります。

配食サービスワーカーズ パセリ (くまもと)

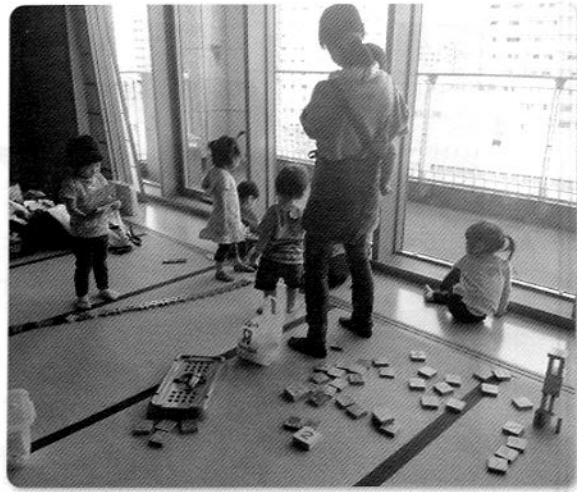


# 子育て部会報告



私たち子育てサポートワーカーズあん・あんに、現在17名のワーカーで活動しています。子育て真ん中の40代、子育て終了間近の50代、今度は孫や親の世話で忙しい60代とそれぞれ大切にしたい時間を確保しながらワーカーズという働き方で有意義な時間を送っています。

みやざきでは、生協託児をメインに地域の託児も行っていきます。生協託児では地域拡大に伴い、宮崎市を拠点に県西、県北の方へも出掛けていきます。(只今、現地スタッフ募集中です!) 毎月会う子どもたちの中には、託児デビューして毎回泣いている子もいましたが、少しずつずつワーカーとの距離が縮まり、最近ではワーカーのひざ枕で眠るようになったりと、子どもたちの成長を日々喜んでいきます。地域の託児では定期的な大型託児が定着してきており、いきいきと頑張るママたち



「安心・安全・安心」の...  
 のでできる限りのお手伝いができるように総動員で頑張っています。  
 「あん・あんに」は今年10才になりました。安心の「あん」、安全の「あんに」、安らぎの「あんに」から名付けられました。私たちが「あん・あんに」の存在が子どもたちにももちろん、家族の皆様への安らぎの場となつてほしいと願っています。これまでの出会い、これからの出会いを大切にしていきたいと思っております。  
 子育てサポートワーカーズ「あん・あんに」 (みやざき)

# 訪問介護部会報告



平成27年3月20日、グリーンコープの組合員の活動と、社会福祉法人グリーンコープかこしまの活動の拠点となる「社会福祉センター霧島」がオープンしました。

ふくしサービスセンター「はつびい」の仲間たちが、「地域活動の拠点施設をつくらう。」と日々語り続けてきた「夢」が、社福かこしまの皆さんの励まし、社福グリーンコープの皆さんの応援、組合員さんの「福祉活動組合員基金」の応援、たくさんの方々のお力とまごころが織りなす中で実現しました。

デイサービス「霧島みどりのお家」に、始良市と霧島市を活動エリアとしていた「はつびい」から「きりしまはつびい」へのれん分けさせていただき併設。認可外保育園「霧島むくの森こども園」も併設とい



「夢をかたちに」を「夢をかたちに」へ!!



う、「かたち」になったのです。「赤ちゃんからお年寄りまで、すべての人が住み慣れた地域の中で、最後まで安心して暮らしていけるように助け合っていく。」という、サービス提供の基本理念の実現をめざし、かこしまのみなさんと心を合わせ、地域福祉の夢の実現に取り組みんでいます。

鹿児島にいらした折は、ぜひ一度お立ち寄りくださいませ。

労働協同組合 芽ぐみ きりしまはつびいかこしま

# ケアマネジャー連絡会報告



皆さんこんにちは、ケアマネワーカーズ「青葉」のケアプランセンター荒玉です。福岡県との県境を拠点としています。同じ敷地内には、デイサービスゆりの家、荒尾と店舗「元気館」があり、沢山のワーカーといつも声を掛け合い明るく元気な仲間と一緒に活動しています。事務所近くにお住まいの利用者さんは、サービスを利用されるようになってゆきめきとお元気になられ、お散歩が立ち寄り寄っては冗談を言ったり、困ったことを相談されたりするなど、事務所を憩いの場として活用されています。また、荒尾市や玉名市の認知症サポーター養成講座(小学生から高校生・大人対象)に認知症キヤラバンメイトとして積極的に参加し、小さな子どもさんからお年寄りの方までが安心して暮らせる、住み良い



優しい町作りを目指して活動しています。地域の草の根の中で小さなことからでもお役に立てることを探し、こつこつと励んでいます。業務上、サービスを利用される事で関わっている方そうでない方も、その方の思いを聞いて聞いて聴くことを心がけて、これからも頑張っていきたいと思っております。

ケアマネワーカーズ青葉  
 ケアプランセンター荒玉 (くまもと)

# 施設系部会報告

地域に根ざす 24時間365日 対応の施設です



畑にて

平成19年3月に訪問介護事業所を豊野に立ち上げ、仕事の楽しさをアピールしながら、人材確保と事業の拡大に努めました。

今後、地域にとって自分たちは何ができるのかを考え、定例会で検討を重ね、「グループホームを作りたい。」という一致した意見のもと、勉強会や他のグループホームの見学などを行い、私たちが目標とする施設作りを検討してきました。そして多くの方々の応援をいただき、昨年12月に開所することが出来ました。お正月は3名の方と過ごしました。現在満床になり、日々利用者様と楽しく過ごしております。ボランティアさんの歌と踊りを楽しみ、畑にはかぼちゃ、ナス等を一緒に植えて



外を眺めています



理想とするグループホームが誕生!  
 います。テラスからはシンボルツリーの八重桜が見え、周りにはスタッフが植えた花を眺めることが出来ます。理想とするグループホームが出来ました。グループホームほのか・豊野 (くまもと)

# 通所介護部会報告



「ほのかの夢」

ありすの家は、2012年12月に長崎県南部の鶴見台にオープンしました。長崎港を見下ろせる高台の山際、緑豊かな心地よい環境にあります。春は鶯が飛びだります。秋になると赤とんぼが飛んできます。60〜90歳代の利用者さんたちが皆仲良く、穏やかに過ごされています。デイルームの窓外には広いバルコニーがあり、庭では野菜畑や花壇をつくり楽しんでます。

そもそもありすの家は、訪問介護事業所ありすのメンバーが、長崎にも通所介護事業所を！と長年温めた夢を形にしたデイ



干柿、甘くな〜れ!

4月からはありすの家の休日を利用し、地域の方々への講座企画を開始しました。ワーカーズ主催の生涯学習の場にとどまらず、社会福祉法人グリーンコープやグリーンコープ生協の組合員さんの活動の場として活用できたらと願っています。今後さらに地域との繋がりを深め、住んでる街を住みたい街に。するためにデイの役割を果たしていきたいと思

デイサービスセンター  
 ありすの家 (ながさき)

